

第2回みのかも定住自立圏構想共生ビジョン懇談会 食文化・産業振興WG部会 議事録

○日 時 平成23年10月11日(火) 19時15分から20時まで
○会 場 美濃加茂市生涯学習センター202会議室
○参加者 美濃加茂市 大矢正昭 委員(部会長)
美濃加茂市 田中 強 委員
美濃加茂市 山田 智 委員
坂 祝 町 小西輝幸 委員
富 加 町 小島一彦 委員
七 宗 町 長谷川嘉彦委員
事 務 局 美濃加茂市 定住自立圏推進室 遠藤比呂子係長
坂 祝 町 総務課 兼松邦彰
川 辺 町 総務企画課:竹内康人
欠 席 川 辺 町 加藤孝明 委員

1 開 会

2 共生ビジョンの変更案について

部会長:イノシシは定住事業の取り組みとしてよいテーマと思っています。現在は、中部大学と連携し基本的なところから研究を進めています。先日、シシ肉カレーの試食を行ったが、カレーにはよく合うと感じました。10月23日の昭和村で開催される「食の陣」でも試食を行う予定をしており、事業として前進していると考えています。資料P15のとおり、中部大学で試食及びアンケート調査も行っています。

小西委員:このまま進めていけるとよい。

山田委員:どこまで商品にできるかが課題と思います。

小西委員:丹波篠山でもイノシシ商品を出しているが他所より仕入れている状況です。

田中委員:安定的な供給に問題があります。美濃加茂市でも以前イノシシの飼育していたところもあったが今はしていないとききました。

小島委員:仕入れるのもよいが、まずはこの地域のイノシシをどうするのが大事では。

山田委員:最初はそうであるが、篠山でも事業拡大に伴い変わったようです。ここの研究でも夏肉と冬肉の両方を試験すると聞いています。

部会長:研究を聞いて西日本の方から買ってくれないかという話もあったようです。研究が進んで事業化の可能性が広がったと思います。

長谷川委員:七宗町では猟師の仲間内で消費されているようです。取り組みについてはよいと思います。

田中委員:どうブランド化していくのが課題。また、猟師の高齢化に伴う猟師の確保も課題です。

事務局:定住の別の事業にて「わな免許」取得者拡大を図る計画があります。

小島委員:売れるという需要があれば、捕る人も増えると思います。

山田委員：事業では買い上げを前提に考えています。

田中委員：試食を行った以外にも、肉をベースとすればいろいろな調理法、需要が考えられます。

部会長：しかし、牛肉のようにはいかないと思われます。

田中委員：将来的にはハンティングなどを絡めたビジネス拡大もあり得るかもしれません。

部会長：講習会などの事業もあるかもしれません。

事務局：白川町もイノシシ事業には積極的ときいています。また、資料 P16 のとおり年度末には審査会を予定しています。

小西委員：シシ肉に合うカレーの研究はどうだろうか。

山田委員：大手ではロットが少なすぎて話にならないと思う。とれったひろばオリジナルカレーを作ったときの業者に一度聞いてみましょう。

部会長：スタイルとしてはレトルトがいいと思われます。便利だし日持ちもします。ただし、根本的に供給コストが問題です。

小西委員：解体、精肉できるところが限られており、非常に高コストとなっています。圏域拡大に伴いよいところが見つかればいいのだが。

事務局：ビジョンの2回目の変更について説明します。富加町、七宗町が参加したことによる変更を11月にも行う予定としています。食文化・産業振興ワーキング関係では No.15 が事業名称変更、19、20、21 が新規となっております。また、これらの内容につきましては現在、各市町に確認中です。

委員：了解。